

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【 施策名： 1) 計画・設計段階の見直し 信頼性設計法の適用 施策7 】

設計方法の見直しによるケーソン断面の縮小

工事名：高知港三里地区防波堤（南）築造工事

概要：多少の滑動を許容する「信頼性設計法（滑動量法）」を適用することで経済的な断面が可能となる。

効果

○滑動量法を用いたことにより、部分係数法と比較してケーソン幅を12%縮小できる。

○築造コストを**1,790万円/m**→**1,753万円/m**に改善、**1mあたり37万円**の改善。

(平成20年度改善額:約28百万円、改善率3.5%(75m延伸))

